

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		森林調査業務や保育作業等の軽労化							
指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北	0	0						
	全国	0	0						
把握する時期								当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月	
指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北	0	0						
	全国	0	0						
把握する時期								当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月	
指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
指標を設定することが出来ない理由									
各実施主体ごとに個別の目標値を設定しており、共通の指標を定めることが困難なため。									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
実施主体が作成する事業実施状況報告書により成果目標を確認する。									

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	人口減少や高齢化により林業従事者が減少する中、作業の軽労化が課題となっている。保育作業をはじめこれまで人力で行っていた作業を機械化することで、生産性が向上し、林業成長産業化に向けた生産基盤の構築が進むことから、本事業は重要である。
住民ニーズに照らした事業の必要性	過酷な保育作業等を機械化することで、林業経営体が抱える課題の「労務軽減」や「生産性向上」に寄与する取組となっている。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
県が、スマート林業技術を関連団体に広く普及啓発することで、団体間での取組を支援するなど、効果的な取組が期待できる。	

		政策評価委員会意見	
		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	
		重点事業	
		その他	